



やまと

第77号

スポーツ推進委員だより

■目次

- スポーツフェスタ2023 (P1)
- 大和市民まつり、合同研修会 (P2)
- 宿泊研修会、3市交流研修会 (P3)
- 特集：タスポニーについて (P4)

発行 大和市スポーツ推進委員連絡協議会 広報部 (大和市文化スポーツ部スポーツ課内 046-260-5762)

スポーツフェスタ2023

6月25日(日)「健康都市やまと」“スポーツフェスタ2023”が大和スポーツセンターにて開催されました。梅雨時期にもかかわらず猛暑を思わせる晴天となり、過去最高となる1,879名の来場者数を記録しました。

体育会館では「新体力測定」、「ニュースポーツ体験」として「タスポニー」・「室内ペタンク」・「スポーツ玉入れ」といった新しい競技体験を、小さなお子様には「みんなであ・そ・ぼ」コーナーで「ダンボール迷路」や「輪投げ」で楽しんで頂きました。

競技場では「記録に挑戦！&ニュースポーツ体験」として「50m走」・「サンダルとぼし」・「パターゴルフ」・「フラフープ」・「モルック」といった様々な種目を、幅広い年齢層の皆様楽しんでいただきました。来年も気軽に参加でき、楽しんで頂けるような内容で開催したいと思いますので、多数のご来場をお待ちしております。



大和市イベントキャラクター『ヤマトン』

【 体育会館 】



体力測定コーナー
古谷田市長も体験されました！



弓道体験



バウンドテニス体験

【 競技場 】



50m走



フラフープ



大和シルフィードに挑戦！

第46回大和市民まつり

13日



一日中雨の中実施しました



輪投げ



握力測定

5月13日（土）、14日（日）に第46回大和市民まつりが開催されました。今年は例年と場所を変え、引地台公園芝生広場で「体力測定」や「グラウンドゴルフ」・「輪投げ」・「ラダーゲッター」等のニュースポーツの紹介、体験を行いました。

両日とも雨に見舞われましたが、延べ1,803名の方にご来場いただき、体験されました。特に「輪投げ」には小さなお子様も多く参加され、真剣に輪を棒に目掛けて投げている姿が印象的でした。簡単に見える輪投げでしたが終えてみると思った以上に難しかったという声が多く聞かれました。

また、ニュースポーツのラダーゲッターは大変人気のある種目で、若い世代から高齢の方まで大勢の方々が賑わっていました。何度も参加してくださる方もいて、人気の高さを垣間見ることが出来ました。

14日



ラダーゲッター



カーレット



グラウンドゴルフ

スポーツ推進委員・社会体育振興委員・ 地区体育振興委員 合同研修会

4月29日(土・祝日) 大和スポーツセンターにおいて、大和市のスポーツ推進委員・社会体育振興委員・地区体育振興委員が一堂に会し、合同研修会が開催されました。

研修では「タスポニー」を行いました。「タスポニー」はテニスに似た競技ですが、特徴として1チーム4人制で、ラケット等は使用せずに専用スポンジボールを手で打ち返すニュースポーツです。研修は試合形式で行われ、参加者が選手と審判を交代で担当してルールを学びました。研修で学んだことを持ち帰り、「タスポニー」の楽しさを皆さんにお届けできたらと思います。



スポーツ推進委員 宿泊研修会

生涯スポーツの諸問題について研究協議し、委員の資質向上と相互の情報交換を図り、地域体育スポーツの発展に寄与するため、当連絡協議会では、毎年、他市を訪問し合同研修を行っています。令和元年に足利市と翌年合同研修を行うことで合意しましたが、コロナ禍で延期を繰り返し、9月9日(土)に3年越しに開催することができました。足利市総合運動場体育センターに集まり、足利市からは「ヘルスバレーボール」を、大和市からは「バウンスボール」と「タスポニー」を紹介し、ニュースポーツの体験・学習を行いました。「ヘルスバレーボール」は、1チーム4～6名で元はストレッチ体操用に開発されたユニークな形状のボールを2～5回で相手側に返球するスポーツです。

夜は、第2部として、宿泊先のホテルのレストランにて懇親会を行いました。足利市が主催する足利尊氏公マラソン大会には、昨年度2,870名の参加があったとのこと。また、「全(オール)足利クラブ」という日本野球連盟所属の社会人硬式野球チームがあり、スポーツを楽しまれている方も多いいことを知りました。他市との交流・訪問等はほとんど行っておらず、大和市との交流が2回目とのことでした。

9月10日(日)午前中は、大和市からの参加者のみで、渡良瀬スポーツ広場にて「パークゴルフ」を行いました。初心者も多く、炎天下でのプレーに汗だくとなりました。もともとはゴルフ場であったところを、シニアの運動の場所とするためにパークゴルフ場に変更したことを、管理人の方から伺いました。市内の人は200円、市外の人でも300円でプレーすることができます。6コース(54ホール)あったのですが、時間の関係で3コースのみとなりました。

4年ぶりに他市を訪問しての宿泊研修は、スポーツ推進委員同士がより親密になり、他市で行われている活動を知り、自分たちの活動を考え直す機会ともなる、有意義なイベントであることを再確認することができました。



ヘルスバレーボール



👉日本ヘルスバレーボール連盟



パークゴルフ

大和市・藤沢市・横須賀市3市交流研修会



ピックルボール



モルック



グループディスカッション

9月16日(土)横須賀市メインアリーナにて3市の交流研修会を開催しました。本年度は横須賀市が幹事市となり、実技研修会としては「ピックルボール」・「モルック」、そして初の試みとして“スポーツ推進委員の担い手不足解消と人材育成”と題した「グループディスカッション」を行いました。「グループディスカッション」では難しいテーマであるものの、3市の各委員から現在の状況・意見を聞くことができ、それぞれが抱える問題解決の一助になる有意義な研修だったと思います。

午後は情報交換会を行い、相互の交流を深めました。来年度は大和市が幹事市となり、交流・研修の企画運営を行う予定です。

特集：タスポニーについて

昭和56年、愛知県名古屋市の名古屋YMCAのスタッフによって考案された、手軽に誰もが楽しめて、「運動不足」や「ストレス」の解消になるスポーツを目指して考えられたのが「タスポニー」(TASPONY)で、日本発祥のニュースポーツです。

「TASPONY」の名前の由来は、考案したYMCAの所在地である名古屋市熱田区から「TA」、スポンジ(sponge)ボールを利用することから「SPON」、YMCA発祥であることから「Y」、の3つの関連用語の文字を合成したのからきています。

基本的なルールはテニスに似ていて、テニスボールの代わりに直径17cm、重さ約50gのスポンジのボールを手で打ち合う球技です。やわらかいスポンジボールを使うので小学生から中高年の方まで幅広い年齢層と一緒にプレイすることができます。

「タスポニー」の特徴

- ・スポンジボール使用のため安全
- ・広いスペースがいらない(テニスコートの4分の1程度のスペースで行える)
- ・道具が少なく済む(手で打つのでラケットが不要)
- ・簡単に習得でき飽きにくい(すぐにゲームを楽しめる)
- ・左右の手を使うのでバランスの良い発達が期待できる
- ・運動量が適度である

ラケットなど道具のいらない手軽さが魅力のタスポニー。必要なのはタスポニーボールだけと言えるかもしれません。人間の皮膚に近い材質のスポンジを使っているので手や体に当たっても痛くありません。それでいてコートに落ちた時には適度なバウンドをするように硬度もしっかり考えて設計されています。

元々リハビリ用スポンジボールをヒントに開発されたもので、健康・体力増進のフィットネスや介護予防体操にも活用されているようです。

大和市ではタスポニーの一類型である4人制の「ファミリータスポニー」をベースに大和市版タスポニーとして今年度の親善球技大会(11月5日(日)予定)の種目に採用しました。各地区から代表チームが集まり、ハイレベルなプレーが繰り広げられることを期待しています。

中央林間地区
スポーツ遊好交流会
(8月27日 緑野小学校にて)



一般社団法人
日本タスポニー
協会



審判講習会 (9月23日)

令和5年度 これからの主な行事

日程	行事	場所
11月5日(日)	大和市親善球技大会	大和スポーツセンター
1月14日(日)	第66回大和市駅伝競走大会	大和スポーツセンター 競技場発着・周辺地域 周回コース

「やまとスポーツ推進委員だより」の本号及び過去に発行した号は大和市のホームページからも見ることができます。是非アクセスしてください。

